

## 知事コメント

令和4年6/22(水)

現行の沖縄県対処方針が明日（6月23日）に期限を迎えることから、本日開催されました、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、6月24日以降の沖縄県対処方針について決定致しましたので、その内容についてお伝えします。

今回の対処方針については、これまでの様式を見直し、対策の名称や期間は特に定めず、県民向けの内容はポイントを絞って、分かりやすく伝える内容としています。

まず、県民の皆さまへお願いです。これまで県民の皆さまが取り組み、身につけてきた感染対策を前提とし、コロナにうつらない、うつさない意識を心がけましょう。特に「日頃から」「会食や友人との交流の際」「体調不良のとき」の3つの場面での対策が重要です。発症予防・重症化予防のため、ワクチン接種をお願いします。

なお、感染拡大により医療ひっ迫が懸念される場合は、対策を強化してまいります。

具体的な取り組みとして、日頃から、三密及び混雑した場所等を避け、換気、マスク着用、手指消毒等を徹底するとともに、検温等の健康観察を行い、体調把握に努めましょう。子どもの集まる場面では、大人が感染対策をチェックして下さい。

会食の際には、これまでお願いしていた「4人以下、2時間以内」の要請を認証店に限り解除します。但し、友人との交流を含め、できるだけ長時間の集まりを避け、屋内ではマスクを着用しましょう。会食は感染防止対策認証店を利用しましょう。

体調不良時、特に、発熱、のどの痛み、咳、鼻水等の風邪症状を認める際には、外出等は控え、1週間ほど高齢者等に会うのは控えましょう。コロナが疑われる場合には、抗原検査キットを活用しましょう。

ワクチン接種を最新の状態にしている人は、入院や死亡のリスクが低下します。3回目のワクチン接種に加え、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患等を有する方は、4回目の接種をお願いします。準備が整った自治体から順次接種券が発行されますので、お住いの市町村の情報にご留意ください。

県民へのお願いのほか、来訪者、飲食店等、商業施設、集客施設の皆様向け、また、イベント開催や学校へのお願いについては、要点を絞りつつ、必要な事項については、ある程度、詳細に記述したところであります。これらの部分については後ほどご確認ください。

5月の連休後、新規陽性者数の減少や医療のひっ迫が一定程度改善していること等から、今般、会食にかかる要請を含めて、沖縄県の対処方針を見直したところでありますが、見直しは、県民の皆様が身につけた感染対策を前提としているものであります。

県内の感染状況はピークは過ぎたものの、他県と比べると高い水準で推移していることから、感染状況を注視しているところであり、県としては、今後、感染拡大などにより医療のひっ迫が懸念される場合は対策を強化することとしております。引き続き、感染対策へのご理解、ご協力をお願い致します。

対処方針以外で、県民の皆さまへのお知らせです。6月13日より、有症状の県内小中高校生及び同居家族に対して抗原定性検査無料キットを無料配布している、通称「RADECO（ラデコ）」については、これまで、受付WEBサイトでの1日の受付上限数を100世帯としておりましたが、6月20日より200世帯へ拡充しておりますので、症状がある場合にご活用下さい。

なお、イベントへの参加、旅行や帰省、感染への不安がある場合等に利用できる無料検査は、7月以降も実施します。

県広域ワクチン接種センターにおいては、明日23日(木)午前10時から4回目接種の受付を開始いたします。接種券をお持ちの60歳以上の方を対象に、7月1日よりモデルナ社製ワクチンを使用し開始いたします。詳細は、県広域ワクチン接種センターのホームページに掲載しておりますので、接種を希望される方は、ご確認ください。重症化予防の観点から、早めの接種をお願いします。

また、7月からは、接種体制が整い次第、副反応が少ないと言われる、武田社製ワクチン（ノババックス）を使用し、1・2回目接種及び3回目接種を行っていく予定です。詳細が決まりましたら、再度お知らせします。

梅雨が空けて、これから本格的な夏の時期を迎えます。コロナ対策において、マスクの着用は重要ではありますが、熱中症に注意しながら、状況に応じて適切にマスクを外すことも大切です。

県民の皆さまには、くれぐれも体調管理に留意の上、引き続き感染対策へのご協力をお願いします。